

蟲譜圖說卷之八

化生蟲類一

蠶螬

スクモムニ

腹蜻

キクヒラニ

木蠹虫

キクヒラニ

桑蠹虫

キクヒラニ

桃蠹虫

キクヒラニ

柘蠹虫

キクヒラニ

竹蠹虫

キクヒラニ

蘆蠹虫

タケノコニ

乳虫

ニウカウクニ

柳蠹虫

ヤナギノクニ

棗蠹虫

ヤナギノクニ

竹筍蠹虫

タケノコノクニ

蒼耳蠹虫

タケツボノクニ



青蒿蠹虫

ペイハニ

皂莢蠹虫

ヤシボノケニ

象鼻蟲

スナリニ名スナヒニ

茱萸蠹虫

カマエビノウニ捕

白昌蠹

ホウセイヒノウニ

臭梧桐蠹

クサキノウニ

耳朶蠹

オトコノウニ

桃实蠹

コメノウニ

乾肉蠹

オシノウニ

穀中蠹

コメノウニ

化生虫類二

腹蜡

蠅母

ハルセミ

栗ノタニ

梨ノタニ

瓦色里瓦色

蠅蠅

茅蜩

ヒゾラシ

翠玉蟬

蟪蛄

ミツヘセミ

鳴蜩

蜩

リマセミ

蟻蟬

寒蟬

ツクニニヨ

唐蜩

象鼻蟬

モロモセミ

蝉脱

蝉花

セニノミヌケ

蝉蝶

曉卿

クロキノソウシ

胡曉卿

シヤチホコレン

天社虫

天牛

カミキリムシ

噬衆

ノロカミキリ

サクロクシ

山カミキリ

髮剪子

カツミキリ

名前詳

獨角仙

大コブクシ

コウカブリ

ノコギリムシ

イヌカノフギリ

クワ形クシ

ヒメクワカタ

角クワ形

キクメイ

菊牛

ホノ角ムシ

菊蛭ムシ

ヘビリクシ

飛生虫

ヒメクワカタ

蝶姑

夏ホタロ

ムシホタロ

シミ

衣臭

ノミムシ

アブラムシ

湿生虫

ヘビリクシ

アブラムシ

亂鳴

ウナギムシ

ロラジムシ

庶虫

アブラムシ

アブラムシ

酒蟲

ヘビリクシ

螢火

シミホタロ

君市輝

ムシホタロ

秋ホタロ

ムシホタロ

ウナギムシ

ムシホタロ

蝶

ムシホタロ

秋ホタロ

ムシホタロ

秋ホタロ

ムシホタロ

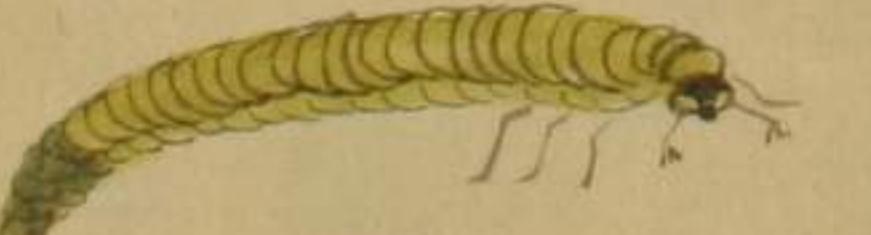
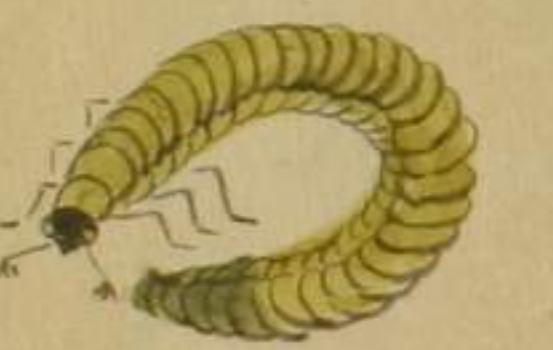
秋ホタロ

ムシホタロ

蟲譜圖說卷之八

化生蟲類一

蠶螬



釋名

蠶螬 蝶螬 地蚕

庶條

乳螭

集解

別錄曰蠶螬生人家積糞糞中取無時

此虫蠹食ミヨク似タリ亦ヲ積置温糞ニテ茎ニ疔ニ生ス色
白ノサニ黄褐色ニシテ頭黃赤色サ毛アリ六足
常ニ頭ヲ屈シテ尾ニ付ク其形蟠加ニ行バ則伸テ尾

ヨリクモハ羽化シテ金華虫トナル卷之九蝗之條
吉丁蟲ノ後ニ見ス

大スリモヒニ
ニウタウムニ
子コカヘル



集解 弘景曰大者如足大趾以背添行乃取於脚
此蟲齧草積糞中生其形狀所謂似日最肥
タリ大者三寸用三モ亦同シ六足アリ茶褐色長
カタ余身ノシワ深ク頗ル茸毛アリ尻ニ褐色ノ毛
アリ腹ノ左右ニ褐黑ノ突起十アリ常ニ頭尾相
合ス頭及眼黑ニ鬚アリ長三分先曲ル老スル者
ハ芥積糞ノ中ニテ化シテ腹增ドナル其形左ノ如シ

腹 蟲



此大螭螬糞糞土積苔ノ中ニテ肥大ニシテ老スル者化シテ腹螭トナル其形略渙鬼蟲ニナリテ色黒黃赤六足亦具ル在ル所必雌雄相並フ夏至ノ把ニ至テ化シテ渙鬼蟲トナル

乳 蟲



釋名 土 蟲

集解 時珍曰其法掘地成窖以粳米粉鋪入窖中蓋之以草壅之以糞候雨過氣蒸則糞烂而米粉皆化成螭如螭螬狀取蛹作汁和粳米粉蒸成乳食味甚甘美
此虫二三月间糞土及土盆種根モアリ是皆自ツ

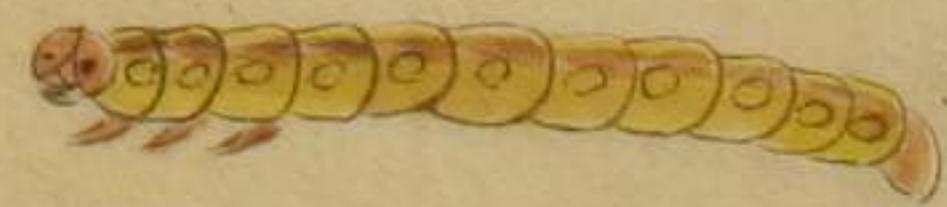
カラ生スル者ナリ小暑ノ日ニ至テ甲虫トナル登ハ草根ニ伏ニ夜歩テ草ノ嫩葉ヲ食フ其頭赤多

木蠹

桐蠹



桄榔蠹



釋名 蝶 檳榔

蝶蛹

蛀蟲 蛭蟲 蟲

集解 藏器曰木蠹一如附增節長足短生木中穿木如鑿

諸木皆蠹虫アリ綱目ニハ其中ニテ用六キ者數品ヲ載
ス第ハ類ヲ推テ知ラシム凡木中蠹ラ生ル初メ天牛
蠹象即頭虫ノ類角アル甲虫卵ラ木皮ノ間ニ生シ
其卵ヨリ裸虫生ヒテ其皮ラ蠹シ木幹ニ穴穿テ遂
ニ其中ニ蠹入テ中ヨリ糞糞ラ出シ其壳ノロミ出シ逐
テ其壳ラカクス此虫工半月頭工ニ向ニ下半月ハ頭
下ニ向フト云其壳ヘホノキビラロラ塞キ氣虫
ササレバ必壳中ニテ虫死ヌ又法針ヲ壳ヘサシテ殺ス
モヨシ又壳一燈油ヲ紙ヲヨリシメシテ押入レ虫ニ油ツケバ
虫死クト云秘傳花露及群芳著ニ見エタリ

桑蠶蟲

シロハニ

柳蠶蟲



取名

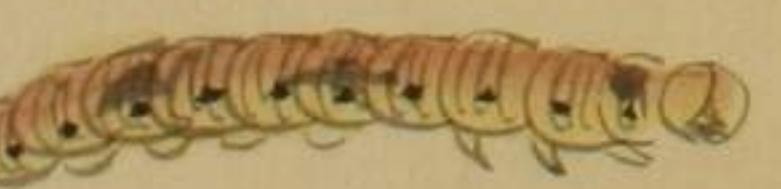
桑蠋

集解 時珍曰 桃蠶生柳木中甚多 内外潔白至春夏化為矢



桃蠶虫

桂蠶虫



集解 別錄食桃樹也。藏器曰 桃蠶辟鳥皆隨出而各有功也 素辟過夜令不相謀為赤水服方守之
集解 藏器曰 桂樹中蠶辛美可味
桃蠶 桃樹之蠶也ナリ 身不ノ中ニ在テ穴ヲ穿テ糞ヲ其穴ノ

外に出ス円ニシテ赭褐色大麻子ノ如シ又桂木生ル蠹アリ形状
相似ナリ皆化シテ天牛トナル

柏蠹蟲

棗蠹蟲

蛹

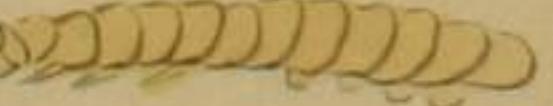


集解 藏暑曰此卽柏蠹在木間食木之糞
集解 特珍曰此卽蠭蛾之在棗樹中者

此柏及オニ生ナル蠹皆淡黃ニシテ頭黒黃大半足短ク善觸
リ好却行ス三ノ樽旋道アリ左右共ニ十二ツノ褐眼アリ老
スル者蛹トナル羽化シテ天牛トナル

竹蠹蟲

頭後鏡



竹芻蟲

集解 特珍曰竹蠹生諸竹中形如小蚕老則羽化為硬翅蝶
竹中多生其虫蛴螬似ラムシナリ大ナル者寸ニ足ラス
小ナル者二分ニ盈ク白色頭黑ク肩大尻ナリ老スレハ

其大ナル者ハ硬翅蝶トアリ小ナル者草蟲トナル善人ラ蟬ス
且痛ノ竹荀蟲ノ形状卷ミ似テ黒斑アリ竹芻中ニ生スルバ
其筍亦枯レテ長セス此蟲老スレハ化ニテ蝶トナル

蘆蠹蟲

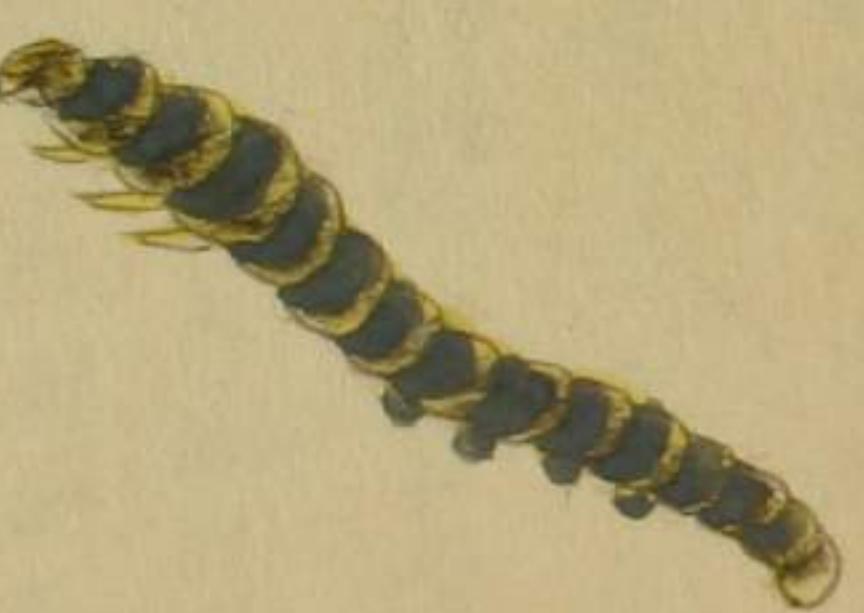


集解 藏器曰出蘆莖中形如小蚕

蘆荻葭葦中及莖三處ヲ生ス其形鈎簪ニ似テ白色甚小
ナリ又大ナル者アリ長ニ寸ニ至ル其形状竹荀蟲同ニ

蒼耳蠹蟲

ナモミノムシ



衆名 麻虫

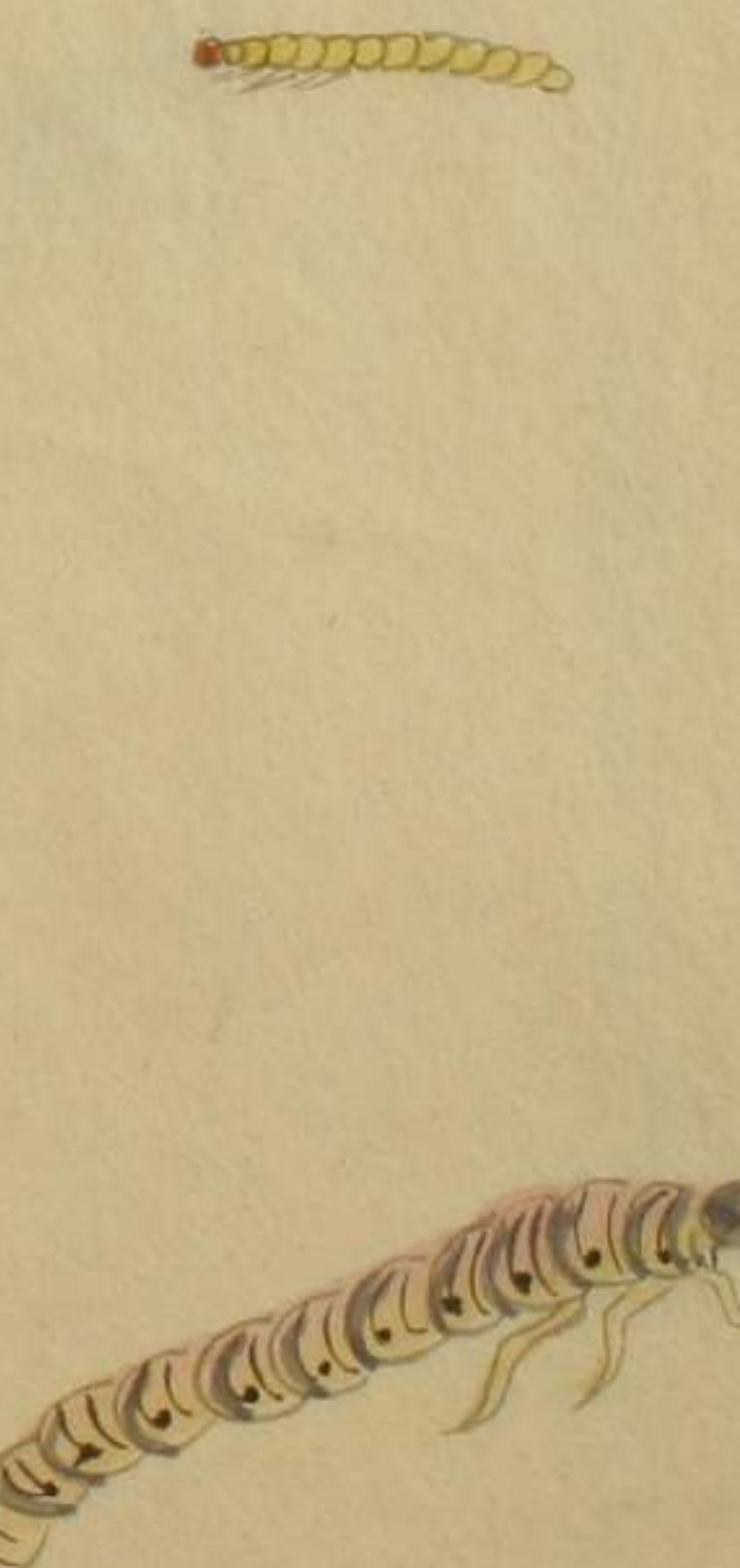
集解 時珍曰蒼耳蠹蟲生蒼耳梗中形如小蚕取之但首梗
有大蟲眼以刀截去兩頭不蛭梗多收織蝶掛簷下其虫有內
絃不可食

蒼耳及諸草梗中蠹蟲生ス其形状亦同シ只蒼耳梗中生ル

者株テ藥用ニヨロシ

青蒿蟲蟲

皂莢蟲蟲



集解 時珍曰此青蒿節間蟲也形如蠶久亦成蟻
此者青蒿ノズイハシナリ頭恰ニ似テ白シ此蟲生ニバ
日中ニ萎ム

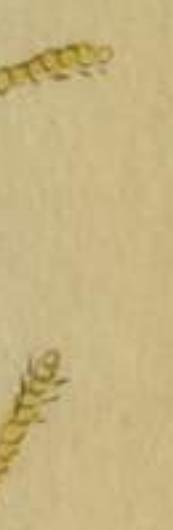
皂莢木ノ蟲蟲ハ大ニシテ黃赤色前六足アリ腹ノ八足

箇ニテ白ノ如シ

象鞍蟲

ズイムシ

頭微鏡



初夏薑牛薑及艾鷄兒腸等ノ葉より其葉軸中、小煮卵ヲ盛
又其下ヲ剪ル其圓心三分其卵象鞍虫トナリ葉ノ心ヲ啖フ
形蟲蟲ニ似テ長四分冬根入テ伏シ夏羽化ニテ薑牛トナ

茶蛀蟲



集解 時珍曰此茶裝籠中蟲也取其屎用

蘿蔓蠶

エビツルノムシ
カツエビツルシ



蘿蔓蔓ノ蠶也ナリ蔓ニ蠶生る時ハ其蠶アルノ蔓太
クナリ一蔓ノ中ニテニツ三ツモ節高リ大ナルアリ必其處ニ
蠶無アリ其形獨ニ似テ油白色頭黃黒身左右ニ
黑矣アリ長キモノニ寸余老スレハ蛹トナリ化シテ蝶

トナル蒲萄ノ蔓モ亦蠶フ生ス其形状亦相似タリ

臭梧桐蠶

クサギノムシ



臭梧桐生タル蠶矣前ノ六足乃尻ノ二足ハ端クニテ章象
ノイボノ如クフチ高クノ中低シ大ナル者三寸余形甚品ニ
似テ肥タリ亦綠ラ吐キ身ニ縫フ是便ニシテ善汎

ル小兒ノ病積ヲ能治ス老ニハ羽化シテ甲蟲トナル

白菖蟲



夏ノ初白菖及蕪蕪類蟲アリテ糞ヲ出ス剝テ見ル
蟲蟲ナリ長サ一寸三ヶ円リ四分六寸十足アリ身ハ
蚕ニ似テ丹黃色十二ノ節アリ毎節ニ四ノ瘤アリ其
瘤皆毛アリ背ニアル者ハ褐色左石ハウスカバ又

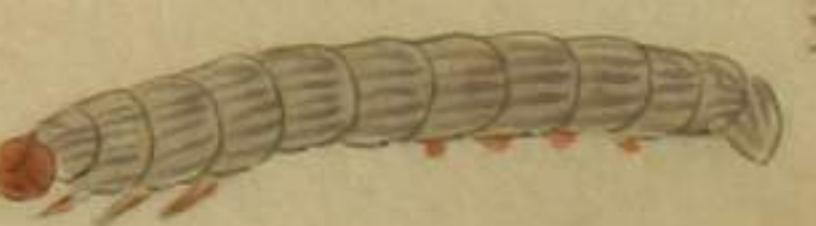
薄カバモアリ短クシテ目ニタゞ頭褐色黑色最壯也
此蟲初メ葉ノ先ヲ啖フアリ乍キ茎ノ心ニ入テ象幹虫
トナリ下リ啖フ根ニ至ル其葉黃色ニ變ス一株盡ルニ
至ル此蟲ニアヘバ花序クナレ

汝南圃史云凡樹内蟲蟲入春頭俱向上難於釣取必用烟
熏噎冬則向下持鐵線一搭立盡

蛀米蟲

コメノムシ

頭微鏡

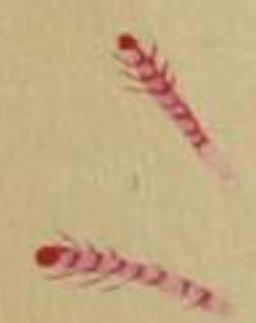


四時俱ニアレニ夏月最多シ未積葉虫シテ虫ラ生ス長サ
ユカヨリセハ乞ル白色ニシテ微毛アリ老モハ小黒甲虫トナ

耳蕨蟲

サタウノムシ

頭微鏡



夏月耳蕨ノ中ニ生ス形蚕ニ似テ絲ラ吐糖ヲ吸リテ身
ニ纏フ小虫ナリ身及毛皆桃花色ナリ

穀中蟲



諸ノ穀暑湿ニ敗ラレ草薙シテ虫ラ生ス其形蚕ニ似テ長サ
一寸黒身ニシテ頭黒紫色微毛アリ絲ラ吐キ穀ヲ食リテ
糞シナス六寸足歩タル速カイリ四時俱ニアリ老スレハ
羽化シテ甲蟲トナル

乾肉ノ蟲

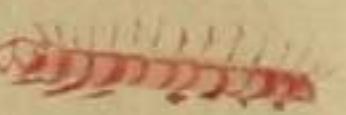
カツラブニムシ



乾肉ノ類皆夏月虫ヲ生ス大丸者四五分身肥テ頭尾小ナリ褐色ニシテ毛多レ乾松^{アワラアシ}臭及溫藏ノ内膏へ道者温熱ニ敗ラレ虫ヲ生ス佑ニ鰐臭ブシ虫ト云其行最疾ナリ後羽化シテ甲黒蟲トアル

桃実蟲

モノノムシ



桃実蟲タリ虫ヲ生ス其形卷ニ似テ淡紅色身ノ長サヌ分其色淺深ノニ種アリ桃実ノ中ニ在テ其肉ヲ咬フ一実ニ多キモノハカツ六コニ至ル者アリ毒也

桃ノ蟲



此虫白露ノ前後桃ノ葉スル前多シ桃ノ実蒂ノ側ニ

小虫眼アリ其尤ヨリ糞ヲ出ス虫漸ク長スシハ枚ノ頭
丹紅ニ変シ蒂断テ落ツ其朽腐スル有味酸シ辛ヲ
好ヒ者蓋中三高ヘテ酸トシ調味ノ用ト考ス此虫毒ア
リ辛ニ食フヘカラス

梨ノ蟲

桃実ノ虫似テ小ナリ

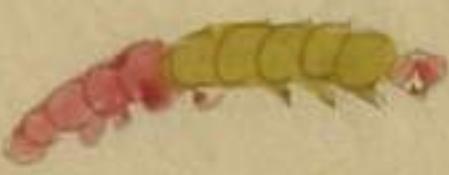
栗ノ蟲

クリの虫

此蟲栗ホク熟シ裂キル片外皮ヨリ入テ実ヲ啖フ甚

矣アリ實ハ色黒ク粘アリテ臭氣アリ或因^體裂シ皮裂ケ
腐爛ス辛熟ニタル者モ虫ノ入タルハ色黃ニシテ味酸セス
唯虫糞アルニナリ此虫亦黑色ニシテ黑矣アリ背微モアリ
○栗ハ虫ヲ生ニ易ニ其虫糞爾ノ如ニヨク似タリ長サハ
四方肥实テキ足ナシ淡黄色ニシテ毛ナシ行運シ蠶矣
ヲ貯フルニハ熱湯ニ浸シ秋陽ニ晒シテ蟲餌ヲ免ルヘシ
チテナハ地中ニ埋シト金モ布金生シテ多クハ齋爛ス

紙ノムシ



此亦紙ノ蟲也ナリ紙ノ間ニ入テ紙ヲ啖フコト米中ノ姑蘋(ヨシノイモ)ノ如シ長サハ九分淡紅ニシテ六キ十足背ノ節シ每ニ大小ニツノ黒矣カリ行ケテ堅ニ希ラ叶カズ頭墨褐色腹ニ綠色斑アリ

腹蜻

化生蟲類 二



集解 時珍曰腹蜻折背而為蟬此蟲至夏登木而脫
蟬類多シトキモ其初地中生ス夏月日鈎ニシテ地ヨリ出テ
草木ノ枝葉ニ登リトワキ背サケテ羽化シテ翼翼伸シ
色変シテ蟬トナリ宿ヲ經テ日出テ自在ニ飛ヒ
木幹ニトリワキ鳴リ雌ハ鳴カズ木工ニ桜リ卯ヲ

地中ニ残ス

蟬母

ハルセミ
ナシロセミ



蟬蝉

セミノメヌ



集解 弘景曰月中便鳴者名蟬母似寒蟬而小又曰垂蟬雖蟬也不能鳴○頌曰本出土中升高处折背殼而出日出則畏人畏日炎乾其殼不能脫也至時寒則墜地○雖數日亦不飲

食飲風露而不糞而溺

季春初ニ鳴ク其聲彷彿ノ音ニ似テ大ナリ多ク喬木ノ梢ニ在テ鳴クユヘニ其聲ヲ聞ケトモ其鳴クモノ蟬ナルヲ知ラス知ラサル者ハ松ノ木ニ生スル毛蟲ノ鳴聲ナリト云其聲ノ鳴ク凡松ノ新葉ヲ食フ棘剛子ト云毛蟲ヲ生スルユヘ誤テモ虫ナリト云サレドモ毛蟲ニアラズ小蟬ナリ其蟬今箇ナルサク小ニシテ芳潤ニ似テ寒蟬ヨリモ小ナリ確ハ尾ツヨリ雖ハ尾長ク先尖ル羽ハ身ウニテ背緑黑六足アリ赤黒ニ小暑ノ比ハ絶テ見エス

茅蜩 ヒグラニ



一名 茅蟬 ヒグラン

或輔道志

集解 時珍曰小而色青綠者曰茅蜩曰茅蟬云

小滿ノ比ヨリ始テ鳴ク此蟬在鳴夕日西ニ至リ入テシトスハトキ又朝日東ニ出シトタルモ鳴リ其声清涼ニシテ炎暑ヲ拂フニ足レリ其蟬小ミニシテ青綠色黒五アリ其羽薄クシテ透明頭廣ク綠黒相文リテ銅炎アリ六足此蟲口を針アリ長カタ分鳴クナリ尾ヲ捲カヌ

溺シテ糞糞セズ西郊ニタクアリ東郊ニハ絶テナシ

蟬

ヒギカリセミ
立色セミ



一名 麥丸 靖

集解 片珍曰小而有文者蟬也盛京道志曰小而有文者曰靖小滿雨晴薄暑至ル頃ヨリ始テ鳴ク其聲シテ又チカト長ノ声ラ音ヘテ鳴ク其聲頭廣ク身短ク背綠裏文アリ羽ハ黒質ミニシテ白斑タク六足四翅雄身長一寸三分之洞七分翅銀粉アリ只ノシテ針アリ赤毫毛鳴カヌ秋深ニシテ尚アリ腹暗化蟬異其背泥土ヲ蒙

蟪蛄

ミシマセミ



一名 蝉蟟

蛻蛄

蛻塊

螢块

音央

集解 時珍曰秋月鳴而色青紫者曰蟪蛄

大暑ノニ至テ初ニ鳴ク其形状若茅蜩似テ差大ナリ頭ヨリシテ
翅ノ先ニ至ル一寸八分濶サ九分頭廣ク眉黑ク綠帶ニ背ハ綠ニシテ
黒文アリ身ハ黒ク肥テツマリ太ニ翅ハ薄絹ノ如ク透明ナリ其鳴
聲ミシシト云故ニ俗ニミシシト蝉ト云

翠玉蟬

ツリカ子セミ



福州府志云有翠玉蟬翠色可愛韻如彈琴

秋月稀ニ鳴ク蟪蛄ニ似テ全身綠色六足亦綠色キリ羽翼ハ
薄クシテ水綠色其鳴ク琴ニ曲ノ如ク甚雅ナリ相州ノ人
言フ國俗ワリガ子セミト云ト言ヘリ

螽

シチニシチニ
大蟬ホウ ヤマゼニ
布ホ クマセミカ
家カ



一名 馬蟬

邵武府志云古人於諸蟬皆呼蜩蓋蟬之總名也爾雅韻馬蜩郭璞曰蜩中最大者李氏子晉所謂夏所以鳴者是也此蟬閩東ニハ甚稀ナリ五月ヨリ鳴ク其韻シンシト云

其形状穗蛇似テ身呈色斑文ナシ頭廣ク大ニシテニテ紅矣アリ六足黑ク四翼薄フシテ透明ナリサレドモ茅蜩ノ羽ノスキトホリテ全身見ルベキニ異リ羽ノ脉路深緑色ナリ

鳴蜩

アブラゼニ



一名 吮燎

蟬ホ

集解 弘景曰詩云鳴蜩嚙嚙者形大而重○宋衷曰蚱蟬夏

月身を音俱大鼓終般聲○童修鵠江府志云佐呼蚊燎亦曰

蟬蟬

此蟬細ノ種ニシテアブラセミト呼フ七月ヨリ八月ニ至ルコデモ鳴
ク其声ジイイガモリシト長リ始ノヨリ終リコテ一聲ニ
張チ是華ク炎暑ヲモ凌クモ堪難ク寛ユ此蟬甚多ニ

寒蟬

クツクホウシ ツクシニコ



一名 寒蝉

寒蟬

小青蝉

通雅



一名 蝉 胡蝉

本草綱目卷之四

天保十五甲辰立秋曾飛來蟲声天牛翼ノ響ノ如ニ何ノ
名ナルヲ知テナキ上至ル之拂落ニ見ニ異品ナリ身ノ長サ
ハ万圓カ立分兩耳角アリ頭ハ三瓣ク四眼小ミテ黒クロニ窟
アリ六足黒ニ腹ハ黃桿翅ハ壽里ノ斑文アリ

アミガサセミ 小セミ

ナキシセミ



添田氏蟲書中ニ蝶ト名ク。于蟲譜ニ載テアミカサト名ク其形
状アミカサニ似タレバナリ此虫秋月草木枝上ニアリ大サ四分形ハ蝶
ニ似テシナリ翅淡緑ニシテ後又蝶頭ニ凸凹アリ背高リ羽
先又高ニ自緑色口ナク筋アリ大足鬚ハ緑色鳴声蝶ニ似テ微ナリ

ベツコウヨコブエ

コロモセミ

一種 大コロモセミ



夏月草葉ニ多ニ形状坤ニ似テ小ナリ大サユ大方ニ遇キズ頭尻

福州府志曰九十月十鳴甚博急者寒蟬也
此蟬立秋ノ比ヨリ始テ鳴クホウシイツクト云其声甚博急ナリ
日モ短ク哀氣至ルノ漸ニシテ此虫ノ鳴ラ昇テ懦婦驚
ク一鳴聲鳴ラ昇テ驚クカ如シ九月ニ至テ暖日ニハ鳴クナリ

象鼻蟬

頭微兔



福州府志云象鼻蟬翠紅相間好登荔枝木而不能鳴之矣

泉子蟲譜引高要縣志云琵琶蟬赤蜩三類好集龍眼樹
身羽如琵琶色青緣而有赤黃斑文不能鳴

此小虫ニテ在リトイヘニ人目ヲ留メタル故ナリ四五月間

樹ニ集ルヲ視ル嘴ノ長ク象ノ鼻ノ如ク淡紅身ハ綠色ニ

シテ翅淡綠ニシテ薄シ長サセ分辺ヤズ寒泉予蟲譜ニ載
ル者大ナリ龍眼枝上ニ生ル者ハナルヤ又頭微競ヲ用テ凹スル
者カホタ其由ヲ耳カズ

螗蜩

ミ・スク



蟬花

セミタケ



衆名

冠蟬

胡蟬

螗蜩

蝘

集解 頌曰其蟬頭有一角如花冠狀謂之蟬花宗祁方物
賈云蟬之不蛻者至秋則花其頭長一二寸黃碧色
蟬花霖雨アリテ蟬地中ヨリ出シト欲不レニ雨湿ニ壓セラシテ
穴中ニテ死ス其頭ヨリ莖ヲ奥シテ花アリ穀精草ノ花ニ
似タリ極歩ニ日ニ晒シテ時置ク久シ敗レバ

蟬蛻 セミノヌケガラ



狀名 蟬殼 枯蟬 腹鍤 金牛兒

集解 頌曰此蟲至夏登木而蛻脩治云凡用蛻殼沸湯洗去

泥土翅足漿水煮過晒乾用

蟬卵

クロキクソシ



家名 絡蟬 推凡 推車客 黑牛兒 鐵甲將軍

夜遊將軍

瀼矢蟲

鎮江志

集解 宋夷曰蟬卵有大小者不選用惟牛馬腹結以三十枚
研水灌之絕佳又曰小者身黑而暗夜飛夜伏於並喜食之

夏月墓中ニ生スル黒キ蟲アリエビシト名ク大少マリ化シテ
燒燬トナル

エビムシ



夏月積糞中ニ生ス形狀土クグリニ似テ大小マリ大者
ハ一寸余十二筋細ノ光アリ四足六足アリ黑色ナリ老スル
モノハ化シテ蝶トナル

胡燒燬

オキクソムシ
ハツリムシ

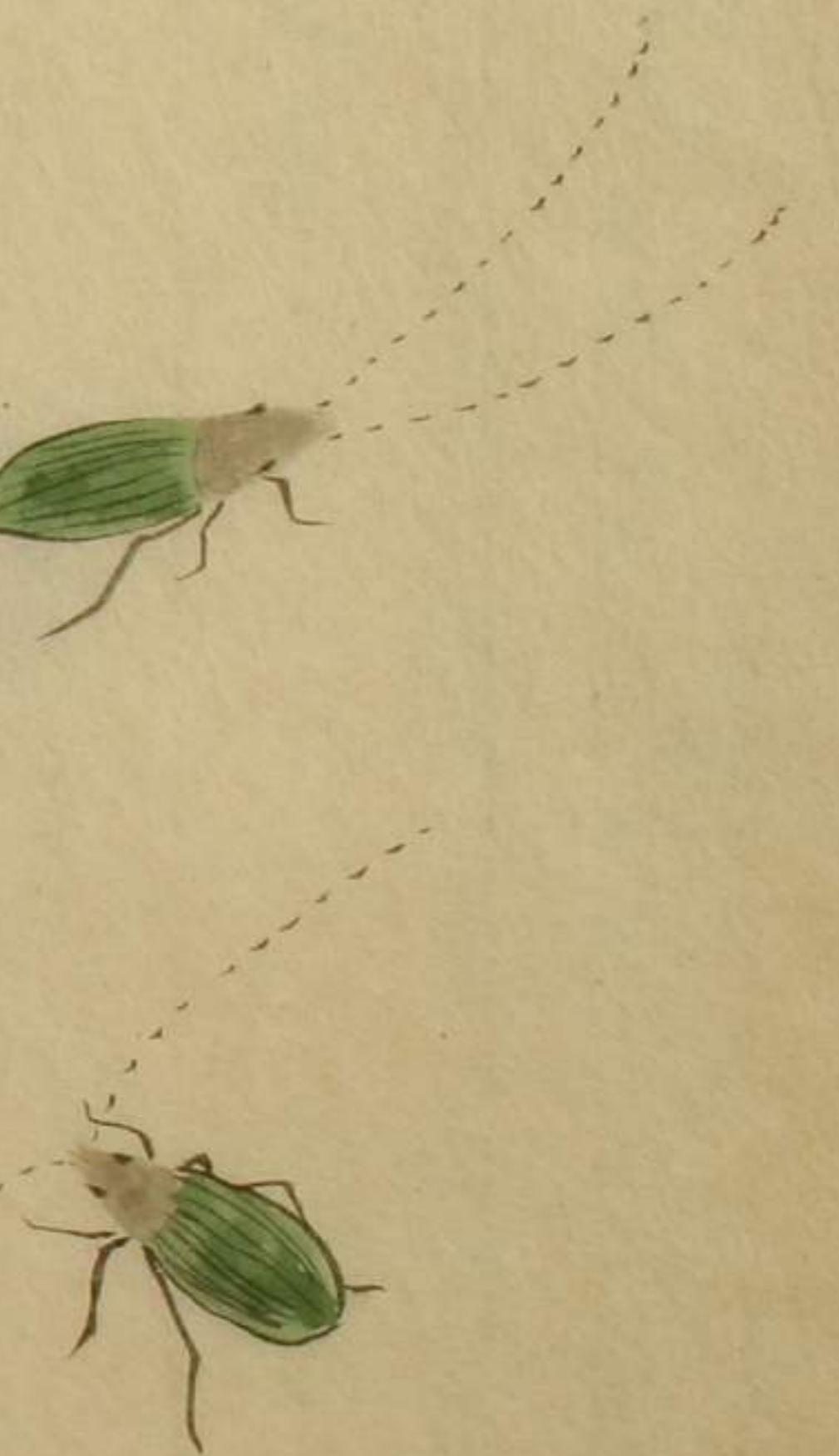


一名 胡燒

張武府志云此蟲夏人墓中取糞凡而却推之活呼推丸有二
種皆有軟硬翅其柔者翼高目深名胡燒燬身直光腹翼下有
黃子附母能登不夜方飛出至人家見燈光則來

光

蜉蝣



一名
渠界

附錄

時珍曰似螢蟻而少大如指頭身狹而長有角黃黑色
甲下有翅能飛夏月雨後化生糞土中朝生暮死此亦魂卿之一
種不可不知也。埤雅曰蜉蝣似天牛而小有甲角長三四寸朝生

夕死

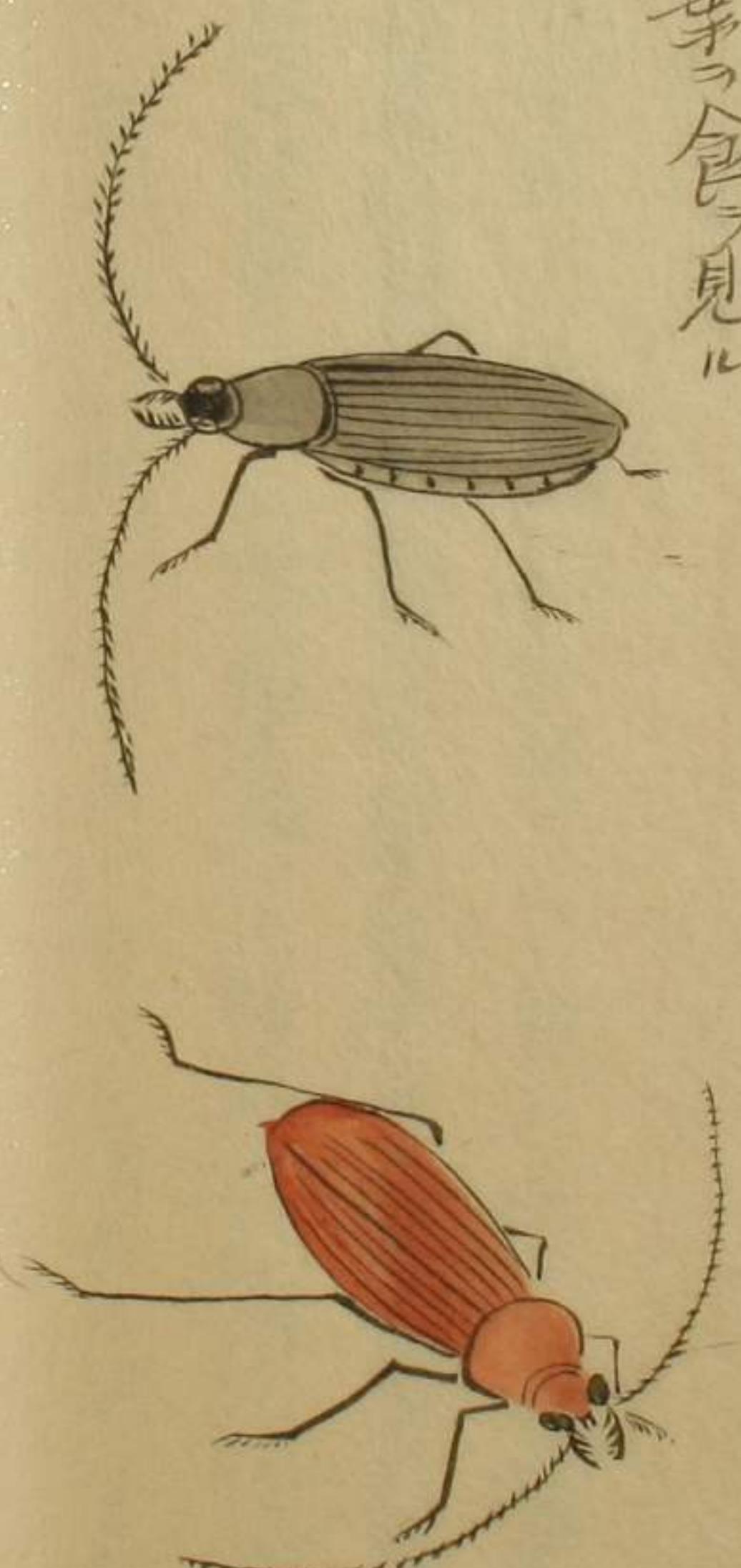
此蟲夏月產於朽腐之所ニ生ス甲壳ナリ形狀行夜ニ似テ小
長ノ身黃ガバ翼油赤甲淡綠シテ角長シ多ク集リ生ス其朝
生夕死者多見ズ死しニ其形狀略似タルニ因テ充テ以知者待

天社嘉

ハキムシシヤチホコロシ



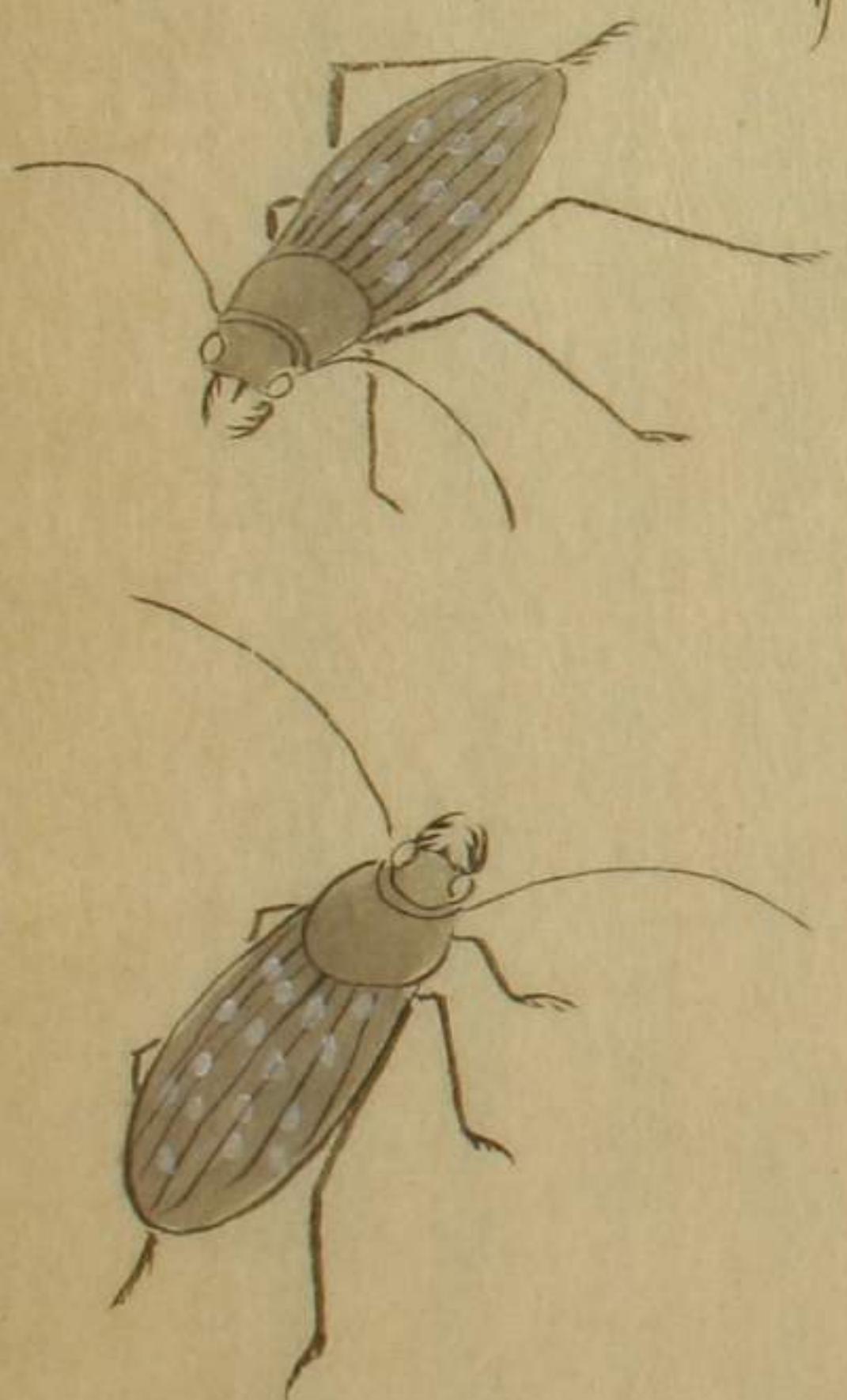
附錄 列錄有名未用曰蟲形如犬大腰食草木葉三月宋
 丹州先生曰無名蟲異品ニヤキナコ蟲ト云者ノル由性靜ノゾ不動
 何木ノ食ヲ知ラヘ一兩日ノ死ル如シ後蛹化成ナル尋常ノ致ノ箇セス
 ○此古蜀類ニテ最奇たる者ナリ身長三寸背四節肉刺ニ行立興リカ六
 訣ヨリ漸小ナリ才節ヨリシテ腰^大脊高クニ節肉刺ニ蝦尾先ニ似タリ
 前足四長ノ大足如モ腹八足短端足、雙ノ葉褐色木蕊ホ色如キ者アリ
 エゾ薺ニ取材葉ヲ食フ見ル



釋名 天牛

集解 藏器曰天牛在朽木中食木心穿如锥刀口里身長足短
 齡慢無毛至春而淡化為天牛丙角狀如水牛
 柳蠹老小叶ハ木ノ中ニテ蛹ナリ夏月羽化ニテ甲虫トナ諸木
 倶生ニシテ形色ナシニ異イリ柳蠹ハ黑甲身嘴長シ髮ヲ
 翼前部ニ鉗如シ飛^フ響^フ大ニ雄、大准ハ少ナリ

蠹象 クノカニキリ



一名 嘘 蝻𧈧

集解 亦雅嘸𧈧也。郭璞曰：狀似天牛，長角體有翼善嘸。
李樹作孔藏之江東，呼為𧈧。以天牛、𧈧為二物也。

𧈧，桑之赤木生也。化者，天牛也。天牛，甲上之白矣。多三角，長々，並班，其牙甚利，善咬。毛髮剪爾。

一種

ザクロハニ

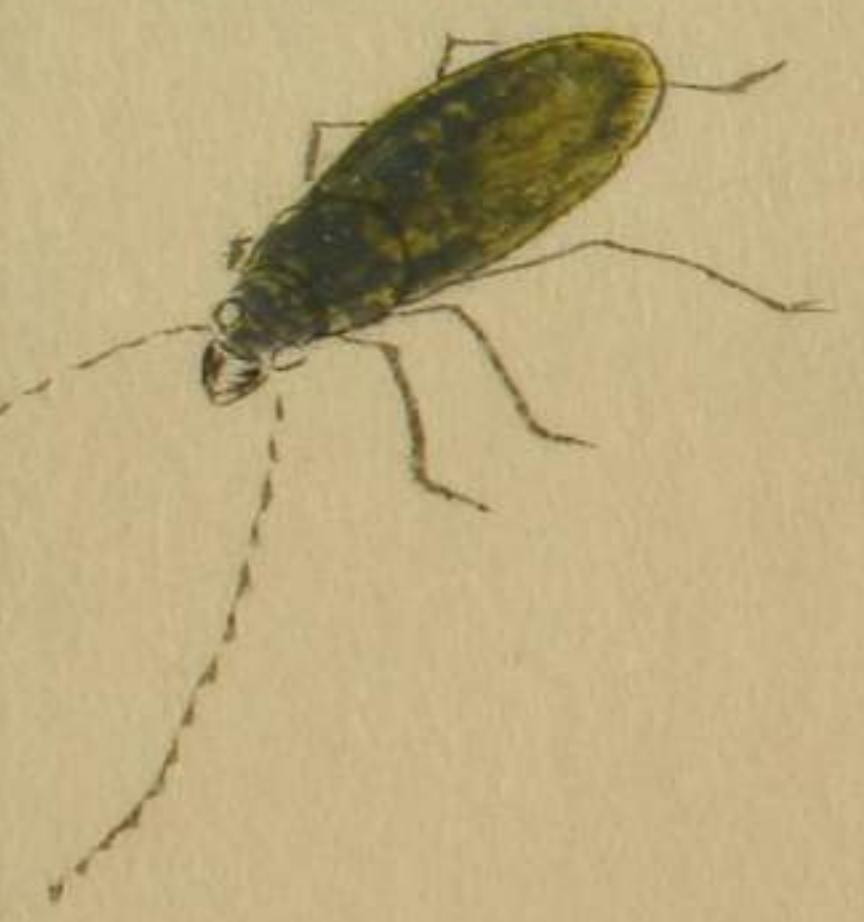


ザクロ魚ハ柘榴樹生也。蟲ソ羽化スル者ニシテ則天牛也。

天牛一種

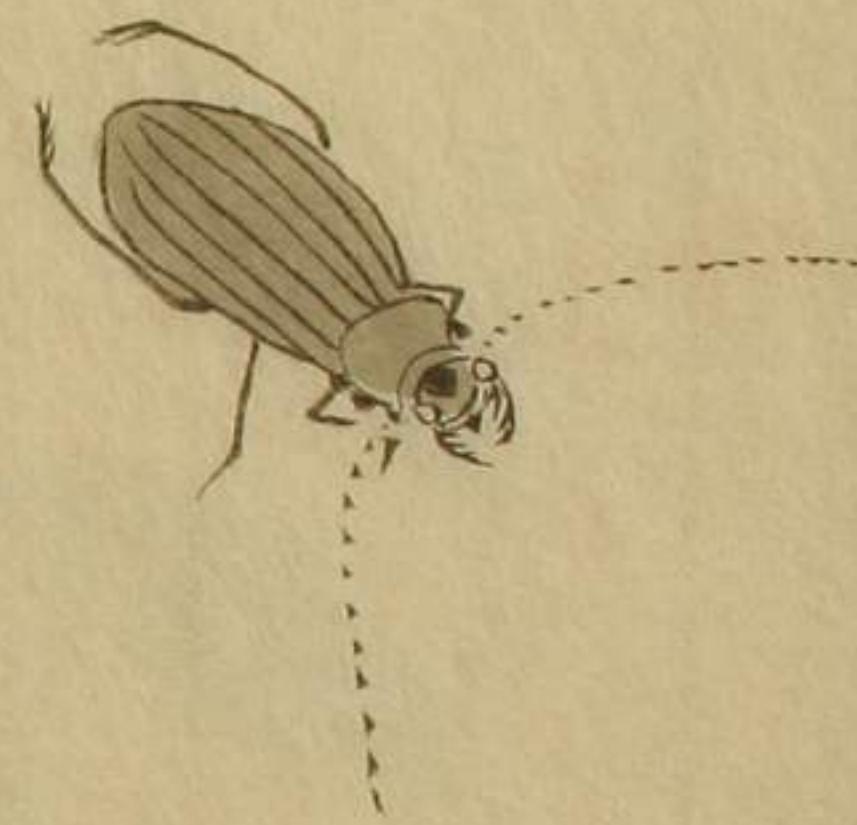
ヤマカミキリ

尋常ノ天牛ヨリヤ、大ニシテ脅褐色角長ク白班アリ



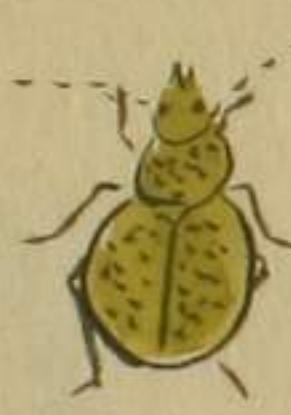
松林中ニ多ニ松蠹ノ化スルモノナシ。形狀嘸ニ似テ差小ニシテ脅ニニワノ夫リアリ。又叩頭虫ニ類ス。名未詳。

蠶一種



夏月臭梧桐枝ドリ着居クルラ薄クリ形状蠶ニ似テヤ、
ハニシテ背ニ三ツマノ夫リタル所アリ褐色ニシテ甲堅リ
六足皆黒ニ黒角黑白相錯ル者ハ葉ノ背ニ伏シ夜出テ

飛其翅ノヒキ大ナリ是真梧桐蠶ノ化スルモノカ
一種舞小者



此虫立秋後飛来リ燈火ヲ拂フテ捕テ梨考スルニ形狀全リ
天キノ如ニ蠶矣ノ化カル者ナラニ其生ル所ヲ知テ身ノ長
セ分角一寸白姫アリ其色青赤色メ黒赤細姫アリ
又小黒矣アリ首身ヨリ長ニ常ニ背ニ負フテ夜

ツ立ル能リ毛髮ラ蟲ス

小楊牛 コカニキリ



西南國文菊條云小楊牛

此嘉土用此夜飛來テノ菊ノ類ラ蟲ニ楊柳生ス一稚小
蟲ノ化ナル者ナリ則天牛ノ一種ニシテ蟲少者ナリ



顯微鏡

夏月詭眼樹、嫩葉ニ飛来テ波ヨ晒フ其色小ミニテ小豆大、
ヤニ捕テ此ヲ煮タルニ天牛ノ類ミシテ甲アリ獨角仙ニ似タリ
白矣アリ一桑牛ニ似タリ桑牛ノ種嘉毎少者カ甲
ノ長サ六分許甲上黒質ニ黒葉アリ甲下ハ茶色質ニ
白矣多ソノ角長フシテ黑白相文ル

獨角仙



釋名 一角者名獨角仙

集解 藏若曰亦有一角者色黑背有白矣上下緣木飛揚不遠

此虫亦蠶虫ノ羽化スルモナリ七月處暑比稀在リ又天牛
ノ類ニシテ大ナハフ銀杏ノ身潤クシテ頭眉尾黒シテ
甲上アバ下黒ニ頭ニ一角アリ漢鬼虫ノ背ノ角ニ似タリ長

サ三分頭メラ為ヌ六足黃ニシテナニ赤キヲ帶フ雌者形
狀同フシテ角ナシ

コブムシ



全身黑色ニシテ形羌著輩ニ似テ長ワ四分余潤一分胸
四ク身ハ褐色ニ横ニ瓊文アリ甲ニ短翼アリ頭鼈及玄
脚ノ鼈ノ如キ者兩對庄其形甚異ナリ長ソシテ末下リ垂ル

其本ニ近リ三ツノ塊アリ連珠如シ中央至テ四塊アリ其先
屈曲シテ又連珠ノ加ニ六脚股凡危渙蟲似タリ

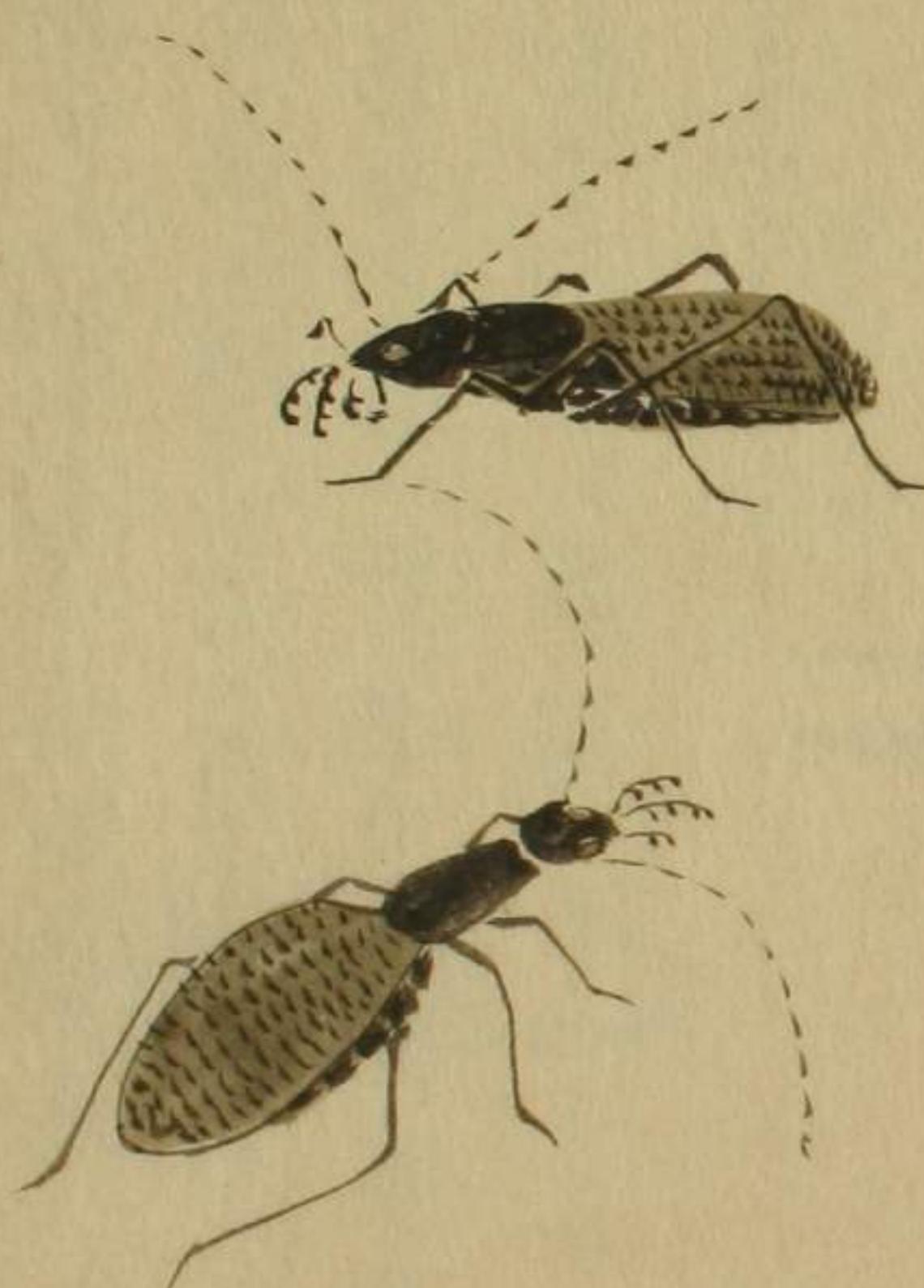
大コブ虫



此虫亦コブ虫ノ如クニテ差大ナリ身ノ長ハ八分横ニ分節有里
色ニシテ甲下翅アリ頭ヨリ端部行如キ屈曲シタル角

飛生蟲 マウカブリ

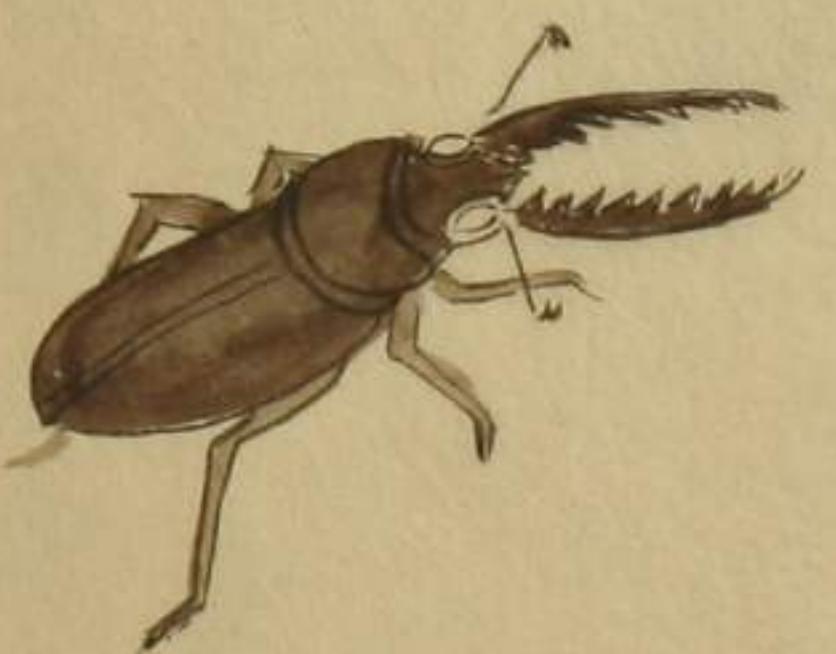
ヲ出スコブ虫同ニ雌ハ形大ニシテ角ニコブナシ



附錄 藏器曰形如蠶柔頭上有角其角無毒。時珍曰此
而天牛別類與鰐角同功

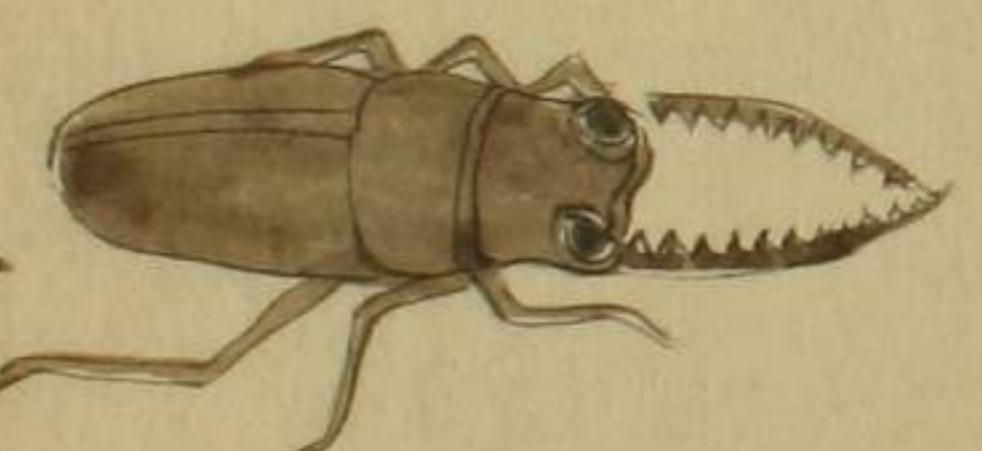
此虫天牛ニ似テ一稚ノ蟲ナリ四時俱ニマリ噬桑ヨリモ頭細ク
長リシテ肩亦長シ身ハ蠶桑ニ同シトイニ背高ツ浑黑色甲
アリ諸黑色細突多シ長頭ヨリ尾至ル一寸八分身ノ周圍二寸
甲高ニ甲下翅アリ善飛フ兩角ヨリ長サ身ニ半ス四ノ鬚アリ
十二長ツ下ニ短シ好テ褐牛ヲ食フ頭頭蝸牛敵ヲ被テ走リ
行リ有ラ見ル多ニ故ニ俗ニコイマイケリト呼フ

ノコヤリムニ



是天牛ノ一種ニシテ木蠹蟲ノ化ナル所ノモキリ其頭額
廣キ丁蟬ノ形ク其齒長ク鋸齒アリテノコギリ齒ノ形ニ似タル
ラヒテ俗ニコギリ虫ト呼フ

オホノコギリ
イスカノコギリ



此虫生スル何虫ノ化スルラ知ラズサレニ甲虫ノ類草不及
穀肉ノ蠶燭及蛴螬乳虫皆甲虫ニ化毛蠶燭蚕類皆蝶及

蛾トナルサカシバ此レ崎嶇類ノ化スルモノトガニ鹿鳴類化
スル者ハ多ク角アリ天牛角牛ノ類也崎嶇類ノ化スル者角
無ク聲アリ是ラム知ル

シロカタムシ



此蟲ノコギリ無ニ似テ大ナリ身長サニ寸闊サ一寸篠

頭廣ク胸モ亦平ラヤリ頭ト肩レ甲翼ト三段ニナリテ
扁ク長ニ頭エノ面爲ヨリ角ヲ發ヒ出ス鹿ノ角ニ似テ
内ニ曲リカミヘテ眉ノ鉢形ニ似タルヲ以シテニシロ形蟲ト
名リ

シロカタムシ

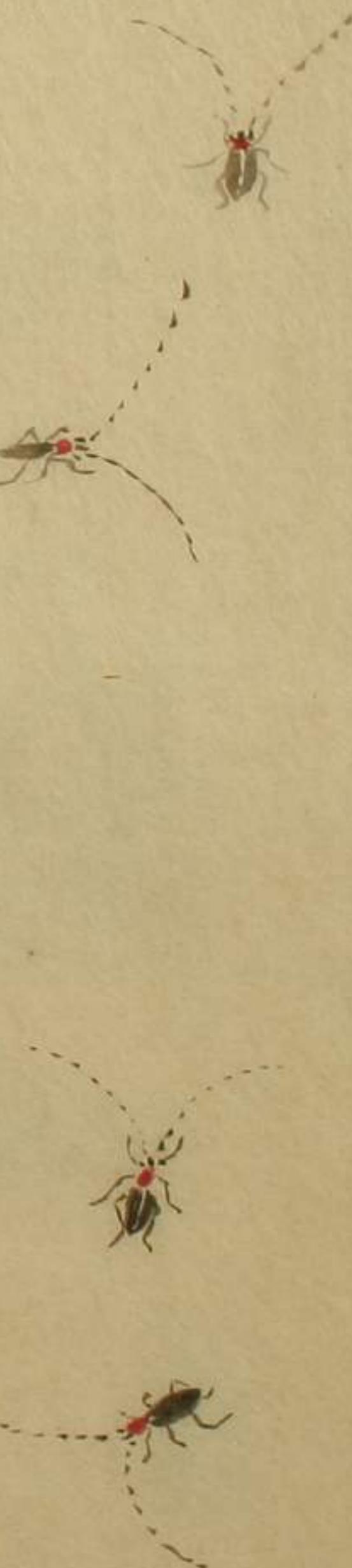


ツノクワカタ

コノ虫カラギリ虫ニ似テ小ナリ長サシラ形ヨリ尾ニ至ル一寸
ニ至ルタス褐色ナ足蟲アリ渾良虫ノ鬚ニ似タリ

菊牛

キクスイ



一名 菊丸

如亨雅著云四五月時有黑殼虫似蚕大肚下黃色尾上
鈎名曰菊牛又云此虫一蟲即生子便更作蛀蟲從損
處辟尾中有小虫可撲殺之

菊牛ハ暮春梅丸於牡丹尾ノヨリ梅天晴ニ至ル最難

是蟲形狀蠶大似テ身少シ細ク頭圓ク甲里ク背赤ニ身黃毛
六足朝暮菊ノ頭ニ伏シ日出テ飛テ菊ノ頭ヲ翦ル其剪
ル始ノ菊頭ヨリニ守下幹ノ皮破リ又菊頭ヨリニオニカ
下リテ例ニ居テ幹回リ剪ル剪リ終テ上ニ居直リテ
又幹ヲ剪ル前血ニ上下剪ル間四分ノ幹ニ林テ是ヲ
尾見ルニ中竟卵一ワマリ前剪ル後天勝ハ菊頭著ニ
立シテ是虫ハ春ニ三日ヲ経シハ剪刀牙痴テ中ノ卵立
蟲トナリ心ヲ噬又倒シ噬テ下ニ至ル秋月ニ至リ日ヲ見レハ
萬毒ニ禦立ル是心ニ蛀虫アリテ噬政ナリ幹ヲ密テ
具蟲ヲ捕ヘ去レハ恙ナシ菊ヲ害スル者タシトイ一氏
此蟲最害ヲ当ス朝日ノ午未ル前捕ヘテ殺スハニ難ハ大

ミシテ雄ハナリ皆尾ニカバノシニヨリ皆尾ニ似クリ

一種 キクスイダマシ



此虫多ク艾葉ニアリ葉々疊ハ四五月ノ間艾葉繁茂シテ
肥タル者アレハ慈ク夢ト菊水異ニテ虫ノ形蜜大似
テ四ヶバカリ赤黒色ニ黒ノ虎斑アリ角長シ甲下翅アリテ
能ク飛フ是亦卵ヲ心生セ害ヲ為ス蟲ナリ

杉ノ角ニシ



杉ノ角蟲ハ菊牛ノ雌ニ似テ背黒色赤ニヨリ腹ハ赤
シ脚布班アリ杉皮ニ生スル小蟲也老ナル者化シテ
此蟲レアル

此小綠蟲梅雨晴テ日始薰薰スルキ多ク生シテ人家入ル
者ヲ捕テ視ヒ杉ノ角虫ニ似シテ毛綠腹黒クシテ類
セス其名エ知ラサレドモ写真シテ以テ参考ニ備フ



釋名 蟪姑

梧胤

土狗

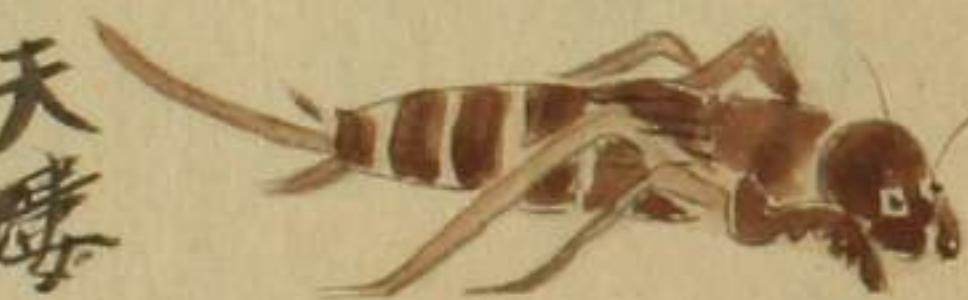
天蠍

鼓

蟬蜎

仙姑

石虱



集解 時珍云蟴姑穴土而居有短翅四足碓者善鳴而能

雌者腹大翁小不善飛吸風食土喜就燈光

此色渥地生之地穴之昼夜伏夜半清明後凡暖ナル

トキ夜鳴ク俗呼蛩鳴クトロ羽鳴カズ蟴姑鳴ナリキ 龜胤

ニ似テ凡貌ニ四足碓ノ羽長端ノ羽短ニ

螢大

ホタロ



积名

夜光

熠熠

即跡

夜矣

景天

救火

燐火

宵燐

丹鳥

集解 時珍曰當有三種一種少而胥飛腹下光明乃
茅根所化也

一種

夏ホタロ

秋ホタロ



集解時珍曰說當有三種トキノハ頭及甲黑ク背赤キ小虫ナリ
今押ナヘテホタロト呼者アリムニホタロハ燐ノ類アリウジ
ホタロハ生々在ノ類ニシテ物各異ナリ今セ佑ホタロト者
内又大小三種アリ四月生ナル者ハ大ホタロ淀川ニ出ツ大
ホタロナルヲ一ヨ近尾ノ光リ又大白星ノ瞬ノ如ニ星レ
大ホタロニシテ宇治川ノ種ニテ淀川ニ出ルモノナリ

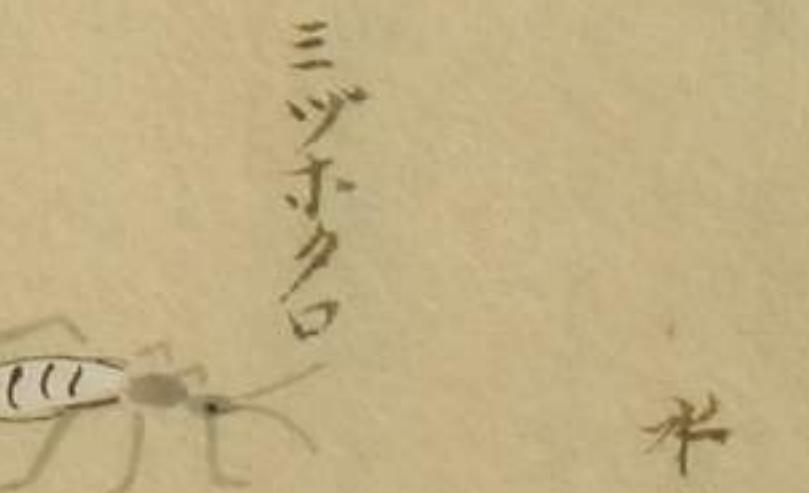
カ六月ノ間ニ生スル者小ニシテ三四寸ニ盈タバ光モ亦少
コレ尋常ノホタルナリ秋生ルモノハ其シテ米粒ノ大
ナリ光モ亦微ナリ是一稚ノ中ニテ三等アリ

燭

ムニホタル

ツキホタル

ミツホタル
モホタル



集解 時號曰一種如蛆尾後有光無翼不飛乃竹根所化也一
名燭○鎌江府志云一種尾後有光無翼不飛

コノ虫立秋後率牛花蔓間ニテ每夜光リアリ虫大ノ

如ニ之ヲ尋ルニ見エド一夜具光アル刃ノ葉ヲ薦取テ渴ダリ
則燭ニシテ沫綠色白粉ヲ帶フ唯下光ナリ捕テ寫真
ス是亦其類ナラニ又湿也塵土間ニテ夜光リ行ク者
アリ之ヲ捕ヘ見ルニ形全リ地蚕似タリ是所謂竹根ノ
化ナルモキラニ文鮮臭及朽木モ暗夜ニ光アル者ナリ

夜臭



秋名 白臭 銀臭 油臭 壁臭 蜜臭

秋名者 家裏日夜臭生々藏在草中及書箱中其形稍似魚

其尾又分二歧故得異名○茲神通志曰蟬節虫色也色青白光明尾歧似兔列子謂打凡兔即此又名豚望乃蠶兔三食神仙字而化者

鼠婦

釋名 鼠負 貨嘴 鼠粘 鼠黏 地雞

集解 錄曰今處々有之多在下濕氣蘿苔底及土坎中詩云

坤城在室鄭玄曰家無人則生坎也

湿生蟲

ハミムシ
ハヌムシ



积水名

螺螢

蝶蝶

水蟲

大和牛草

集解 一時珍曰形似夜臭稍大

此虫二品アリワラジニシトエアリ時珍云形夜臭ニ似テ大ニシテ灰色是ワラジシナリ螺螢室ニアリ鄭玄曰家無人則生故也ト云フモホツラジシナリ蠶若ノ底及土坎中ニ在リト云フ者又蠶負蠶粉ノ名ニ由テ考レハノミムシナリ水蠶

下洗流ニテ所生ヌ者ニ似テ踊リ也飛テ身ニ粘アリ亂
者ニ粘リ何テ落チ大亂負亂枯ノ名充ルワラシ寒ハ掃
除セヌ湿深キ所ニヤリ亂底ニ稀ナリ亂ノ者ニハツキ難シ
ノミセハ掃除セヌ湿深キ所ニ稀ニシテ水甕底ニ多シ聚
考スルニノミシラヒテ亂負ド考ヒワラシ也ヲ伊蹴トナシ
テ高詠ラコツ

廢蟲



釋名 地鼈 土鼈 地𧈧虫 箕虫

過街

集解 桃曰此物好生亂壤土中及屋壁下状似亂婦而大者
可篠形似鼈無甲有鱗小兒多捕以貢物

蜚蠊



釋名 石鼈 盧蟹 貝盤 滑虫 草履虫 香履子
集解 時珍曰今人家壁间蠹下恒多甚者聚至千百身形
蚕蟻般背俱赤而嫋能飛喜燃火光其氣甚臭其屎尤甚羅

頗云此物好以清且食稻花日出則散也水中一種酷似之

人家竈邊ノ壁間に極テ多シ築廻ニシハ夜走食物ニツキテ

大害アル虫ナリ身長三四分兩翅アリテ能飞赤褐色ニシテ

其羽臭ニ其卵少豆似ナリ卵ヲ生ス時ヲ移サシテ裂ケテ敷

百粒^子比ツ初羽ナニ三日ニシテ羽ヲ生ス

酒蟲 アブラムシ

ゴキアラガ



漳州府志云痴蟲狀如龍虱綠蠅喜立好藏厨蓋中嘵物食
此虫形扁色黑。重修臺灣府志云塲鄉臺多產好藏厨中者即此
コノ虫初生スル叶ハ翅ナシ菜蔬臭肉等ノ食物ヲ納畜^シ
ノ中居テ久ス老ナル叶ハ翅ヲ生シテ善リ飛^フ常ニ兩翅ヲ
タニミテ屎^ス穀物ニアバ臭氣アリ兩翅長シトイ一尺身ハ小
ナリ

行夜

ヘリウシ

カメムシ 加



集解 漢書曰氣盤有翅膀飛不遠好夜中行人觸之即氣出
吳與飛燐同名相似然非一物戎人食之味極辛辣

此宏毛石及龜器ノ下ガクシテ夜出食ス、水ム多々集ル者十四
五三至ル者アリ入燭シハ氣出氣ノ中ニ有黃色胡桃
皮ノ微ノ深タル色如ニ洗之不落

